

食品栄養学科 [管理栄養士養成課程]

Department of Food Science and Nutrition

化粧品や美容食品などの開発にもつながる、アンチエイジングの基礎研究に取り組む。

エラスチンは血管や皮膚、靱帯などに含まれる繊維性たんぱく質です。エラスチンは、コラーゲン繊維をまとめることで、血管の伸縮性を保ち、肌を若々しく保ちシワが出来るのを予防しますが、一方で加齢による変性・分解が著しく見られという特徴も。本学科では、アンチエイジングに関する基礎研究として、化粧品や美容食品の素材としてすでに用いられている魚類由来動脈球から精製したエラスチンペプチドを実験用のラットに投与し、血管や皮膚の形態や機能におよぼす影響を検討しています。

食品栄養学科

第26回 管理栄養士国家試験

合格率 **97.1%**

(本学合格者67人／受験者69人)

全国平均【新卒】91.6%【全体】49.3%

(平成24年3月18日 実施)  
(平成24年5月 7日 合格発表)

水産学科

Department of Fisheries

世界初のクロマグロ完全養殖！

さらなる安定供給に向け研究は続く。

2002年に世界初の完全養殖に成功し、2004年には「近大マグロ」の市場への出荷が開始されました。卵から親魚まで育て、さらに卵を採取して次の世代を育てる「完全養殖」。天然資源枯渇の問題を解消し、マグロの安定供給を可能にしました。現在、魚の養殖には魚粉を主なえさとして利用していますが、これでは魚を育てることになり魚類資源の減少につながります。そこで、大豆かすなどの植物タンパク資源を利用する新たな配合飼料の開発にも取り組んでいます。

農業生産科学科

Department of Agricultural Science

園芸療法への応用も視野に入れ、花の香りについて研究。

香りがもたらすヒトへの生理・心理効果について着目する。アロマロジーという学問分野があります。例えばリラクセス効果があるとされるラベンダーですが、植物のどの成分が影響し、その効能を発揮しているのかを調べます。また植物の香気成分は、育成温度や肥料などの諸条件によって変動し、「どのような条件で育てると好ましい香気成分が得られるのか」といったことも追究。その成果を園芸療法に応用することも視野に入れ、研究に取り組んでいます。

願いを現実にする研究。

破壊が進む地球環境を守りたい。これまでになかった葉や新しいエネルギーを生み出したい…。近畿大学農学部では、そんな私たちの「あったらいいな」や「こうありたい」をカタチにし、みんなの願いを現実にする、さまざまな研究に取り組んでいます。

環境管理学科

Department of Environmental Management

サンゴ礁の保全に貢献し、海の生態系を守る。

さまざまな人間活動により、近年サンゴ礁は危機的な状況(赤土流出や白化現象など)にあります。その劣化の進行を食い止めるための有効な対策として、サンゴ礁海域を海洋保護区に設置することが挙げられます。この海洋保護区に生息するサンゴの状態や、天敵であるオニヒトデの出現などのモニタリング調査を毎年実施。継続的にモニタリングを行うことで、海洋保護区が有効に機能しているかどうかの検証にもつながり、サンゴ礁保全にも大きく貢献します。

応用生命化学科

Department of Applied Biological Chemistry

ガンに効果のある薬の開発に挑む。

世界中でガン患者の死亡者数は増加傾向にあり、新しい抗がん剤の開発が求められています。本学科では南米アマゾンに自生するノウゼンカズラ科の植物から強力な抗腫瘍活性を示す化合物を見つけ、その化学的研究に取り組んできました。その結果、ヒトのガン細胞に対して有効に働き、副作用も少ないことを発見するとともに、この化合物を化学的に合成することで、簡単かつ大量に生産する技術を確認。現在、この合成法を用いて、ガンに効果のあるさまざまな化合物を化学合成しています。

バイオサイエンス学科

Department of Advanced Bioscience

ミドリムシからバイオ燃料をつくり、その実用化をめざす。

将来的に枯渇が懸念されている石油に代わる「新しい燃料」として注目されているのが、微生物藻類や植物などを利用するバイオ燃料です。本学科では、バイオ燃料に利用できるワックスエステル(光合成でつくられた糖分を油脂分に換えたもの)という物質をつくり出すユーグレナ(ミドリムシ)に着目。企業との共同研究のもと、バイオジェット燃料の製造・実用化をめざし、より効率よく同物質を生成させるための方法を追究しています。

近畿大学 農学部

KINKI UNIVERSITY FACULTY OF AGRICULTURE

●農業生産科学科 ●水産学科 ●応用生命化学科 ●食品栄養学科(管理栄養士養成課程) ●環境管理学科 ●バイオサイエンス学科

お問い合わせ：近畿大学農学部 TEL.(0742)43-1849 〒631-8505 奈良県奈良市中町3327-204

近畿大学農学部

検索

農学部

OPEN CAMPUS

予約不要・入退場自由

7月28日(土) 13:00～16:00

7月29日(日) 10:00～15:00

9月 9日(日) 13:00～16:00

会場▶奈良キャンパス

各種相談コーナー(詳細はホームページを御参照ください)

公開講座／ミニ講義／学科ツアー など

▶お問い合わせ：学生支援課 TEL. (0742) 43-1849

近畿大学[全学部]対象のオープンキャンパス

●7月22日(日)／8月25日(土)・26日(日)／9月30日(日) [時間]11:00～16:00

会場▶近畿大学 東大阪キャンパス ▶お問い合わせ：入学センター TEL. (06) 6730-1124